

『多機能化を目指す国際観光センター・フロイデに関するアンケート』

日頃より、本市の暮らしやすく魅力あるまちを目指した行政運営につきまして、ご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

今回は、『国際観光センター・フロイデ』について、市民の皆さまの意向をお聞きします。

フロイデは、犬山の豊かな観光資源と国際交流とを関係付ける拠点として、1995年に建設されました。

社会情勢やニーズの変化により、当初の「国際観光の振興」「国際交流の促進」という目的の利用だけではなく、新たな需要が増加してきており、施設のあり方についてこれまで様々な議論がなされてきました。

一方、本市では老朽化した福社会館について、2020年3月に機能を停止する方針を決定しました。そのため、同会館が担ってきた各種機能を他の施設へ移転することが必要となりますが、この機能移転の受け皿の中心となる施設としては、フロイデが最有力候補と考えています。

そこで、これを契機として、フロイデを「市民の様々な交流を促進し、市民が活躍することをサポートするための施設」と位置付け、多機能化することで、広く市民の皆さまに活用していただきたいと考えています。

本市では、「福社会館の閉館（跡地活用）、フロイデの多機能化」に関するプロジェクトチームを編成し事業を推進しておりますが、事業を具体化していく上で、市民の皆さまの意向を確認することは非常に重要であると考えていますので、是非アンケートにお答えいただきますようお願い申し上げます。

平成30年4月

犬山市長 山田 拓郎

■ ご記入にあたっての注意事項 ■

- ・質問は、問5まであります。すべての質問にご回答ください。
- ・回答は、該当する番号を「○」で囲んでください。
- ・記入していただいたアンケートは、平成30年5月18日（金）までに同封の返信用封筒に入れ、封をして郵送により返送してください。

お問い合わせ先 〒484-8501 犬山市大字犬山字東畑 36 番地
犬山市役所 経営部 経営改善課 資産活用グループ
電話：0568-44-0301 メール：011000@city.inuyama.lg.jp

※ このアンケートは、市民の皆さまから無作為に抽出し、回答をお願いするものです。お寄せいただいたアンケートは、すべて統計的に処理いたしますので、個人にご迷惑をおかけすることは決してありません。

問1 あなたの性別、年齢、職業、お住まいの地区について教えてください。次の選択肢の中で、当てはまるものに○をつけてください。

- | | | |
|------|---------------|------------|
| 【性別】 | 1. 男性 | 2. 女性 |
| 【年齢】 | 1. 20～29 歳 | 2. 30～39 歳 |
| | 3. 40～49 歳 | 4. 50～59 歳 |
| | 5. 60 歳以上 | |
| 【職業】 | 1. 会社員（公務員含む） | 2. 自営業 |
| | 3. 家事専業 | 4. 学生 |
| | 5. 無職 | 6. その他 |
| 【地区】 | 1. 犬山地区 | 2. 城東地区 |
| | 3. 羽黒地区 | 4. 楽田地区 |
| | 5. 池野地区 | |

問2 国際観光センター・フロイデの利用状況についてお聞きします。

国際観光センター・フロイデ（松本町四丁目21）は、犬山の豊かな観光資源と国際交流とを関係付ける拠点として、1995年に建設された施設です。



あなたは、この1年で国際観光センター・フロイデを利用しましたか。
次の選択肢の中で、当てはまるものに○をつけてください。（複数回答可）

1. 個人・団体などで、会議室、ホール、研修室、茶室などの貸室を借りたことがある
2. プール・フィットネスを利用したことがある
3. 貸室やプール・フィットネスは利用したことはないが、イベントなどで立ち寄ったことはある
4. 利用しなかった

問3 フロイデホールについてお聞きします。

フロイデの4階には、各種会議、講演、コンサートなど様々なイベントに利用することができる「フロイデホール（規模：340㎡）」があり、建設時にホール部分だけで約4億円を投資し設置しました。

このホールは、可動式の客席を操作することにより、以下の写真A、Bのように様々な利用形態に対応できる機能を持っています。利用実績としては、Aの形態での利用が全体の6割を占め、Bが4割となっています。

例) A：講演会、会議などに利用（収容人員352名）、

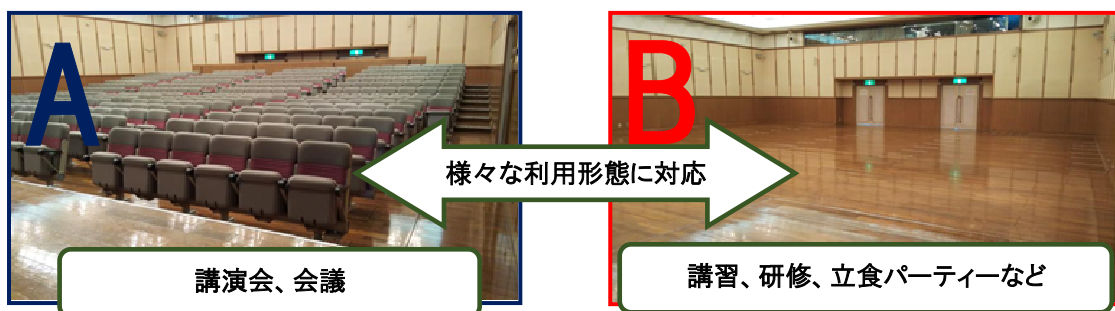
B：講習、研修、立食パーティーなどに利用（収容人員400名程度）

とても便利なフロイデホールですが、建設から20年以上が経過し、可動システムの老朽化に伴い、専門業者からは可動しなくなる可能性もあるとの指摘も受けております。そこで、本市では、この状況に対応するために、以下に示す3つの案を検討しています。

【案1】

「これまでどおり利用者の要望に応じて、舞台、客席、照明、どん帳などを可動させるための改修工事を実施する。」

・5,600万円程度の改修工事費および年間340万円程度の維持管理費を要するが、様々な利用形態に対応できる。



【案2】

「床をフラット（平面）な状態で固定、会議机・椅子を購入、ロビーに倉庫を新設し収納。利用者が必要に応じて会議机・椅子を倉庫などから出して使用する。」

・床の固定工事費、会議机や椅子の購入費、倉庫設置費の合計2,100万円程度を要する。これらの維持管理費は不要。【案1】よりも安価であるが、舞台や照明を可動させることはできなくなるなど、利用形態は限定される。また、利用者が必要に応じて机・椅子の設営をすることとなる。



次ページへ

【案3】

「舞台、客席を固定（出したままの状態）して使用する。」

- 床の固定工事費で560万円程度を要する。【案1】【案2】よりも安価であるが【案2】と同様に利用形態は限定される。椅子を固定するため、照明などの交換の際に高所作業台を運び込むことができないため、足場を組む費用として年間200万円程度必要となる。



あなたは、どの案が最も適切だと思いますか。
改修に必要なコストや今後の利用などを考えた上で
次の選択肢の中で、最も当てはまるものに1つをつけてください。

1. 【案1】が適切である
2. 【案2】が適切である
3. 【案3】が適切である

問4 フロイデの使用料の免除（減免）についてお聞きします。

フロイデは、ホールや会議室の利用にあたって使用料が必要な施設です。使用目的や使用団体に応じて使用料を免除する規定（減免規定）はありません。

1年間の維持管理費は、約1億8,000万円です。一方、施設利用者が納めている使用料は約9,700万円であり、使用料だけでは維持管理費をまかないきれいていません。そのため、不足する8,300万円については、市民が納めた税金から補填しています。つまり、施設を利用していない市民も施設の維持管理費を半分負担していることになります。

よって、本市としましては、フロイデが「市民の様々な交流を促進し、市民が活躍することをサポートするための施設」として生まれ変わった後も、減免規定を設けず、公平性、受益者負担の観点から、施設利用者には使用料の負担をお願いしたいと考えています。

あなたは使用料の免除（減免）に対する市の考えについて、どう思いますか。
次の選択肢の中で、当てはまるものに○をつけてください。

1. 施設の利用者が相応の負担をすべきであり、これまでどおり使用料を免除する規定（減免規定）は不要
2. 使用目的や使用団体に応じて使用料を免除する規定（減免規定）は必要

問5 フロイデの駐車場についてお聞きします。

フロイデには、利用者用駐車場を建物の地下および敷地の北側に 213 台分（無料）確保しています。

年に数回実施される規模の大きな行事の際には、駐車場が不足することがありますが、平常時に駐車場が不足することはありません。

今後、施設を多機能化することにより、新たな需要が生まれ、施設利用者が増加することはあると思いますが、恒常的に駐車場が不足することは想定しておりません。

また、施設の近隣で土地を購入して新たな駐車場を整備した場合、50 台分確保するとしても約 2 億円の経費が想定され、現在の駐車場も一部借地（年間 600 万円程度）していることから、多額の費用をかけて駐車場を新設することは考えていません。

以上のような状況から、本市としては、年に数回想定される駐車場不足に対応するため、運営方法について検討しております。

あなたは駐車場の運営方法についてどのようにすれば良いと思いますか。

次の選択肢の中で、当てはまるものに○をつけてください。（複数回答可）

1. 施設の立地条件（駅に近い）を考慮すると特別な対応は不要である
2. 公共交通機関の利用や民間駐車場の案内を徹底すべきである
3. 必要に応じて近隣の公園を開放するなど、臨時駐車場に対応すべきである
4. 整備費用がかかったとしても、土地を購入し新たな駐車場を整備すべきである
5. その他（ ）

※ その他、「フロイデの今後のあり方」に関して、ご意見がありましたら、下記にご記入ください。

■ 記入欄 ■

以上でアンケート終了です。お忙しいところ、最後までご回答いただきありがとうございました。皆さまの貴重なご意見を、これからの「フロイデの今後のあり方」の検討に活かしていきたいと考えています。今後とも本市の行財政運営にご理解とご協力をお願いいたします。

